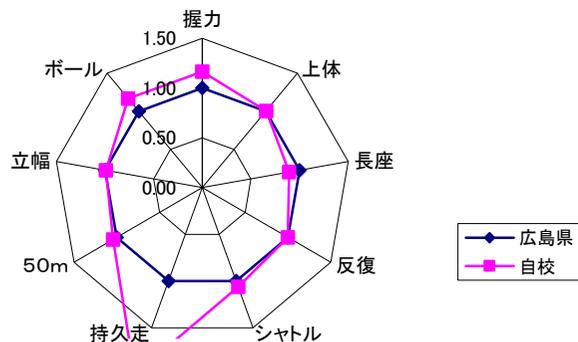


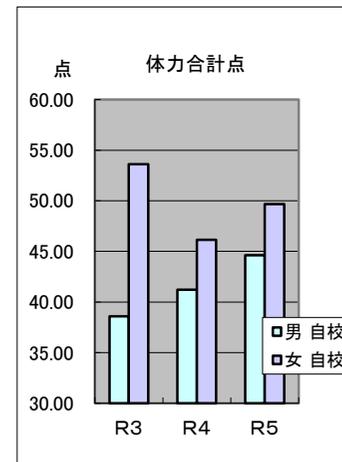
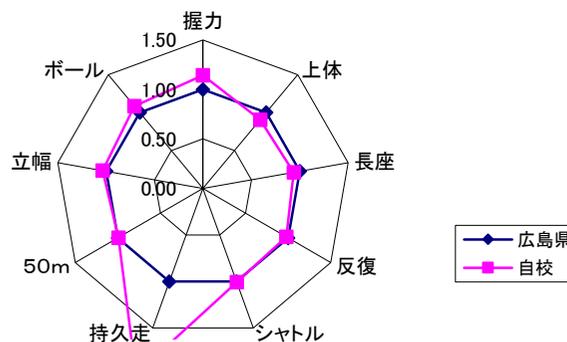
男子の体力合計点 学校 44.62 点 県平均 42.28点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 49.67 点 県平均 48.6点

体力・運動能力調査比較(中2女子)



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析

① 50m走(呉市の課題種目)

男子は全国・県平均を上回っているが、逆に女子は全国・県平均を下回っている。当該学年は男子生徒数が多く、体育を学ぶ意欲が高い生徒が多い。女子は少人数で、競争意識が低いことが結果に影響していると考えられる。

②長座体前屈(中学校区の課題種目)

男子は平均から全国・県平均から5cm程度、女子は3cm程度それぞれ劣っている。身体を動かすことが好きな生徒は多いが、柔軟性は生徒が重要視していない雰囲気がある。

③反復横跳び(自校の課題種目)

男女とも全国・県平均より少し劣っている。授業で球技などの様子を見ると足できちんと踏ん張ってターンする動きが減少している。そのようなことも結果の要因と思われる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目(50m走)

具体的な取組内容

・保健体育科の授業と部活動において、走るためのバランスを強化する体幹トレーニングを取り入れる。
・年度末に複数学年による合同体育を行い、次年度の運動会に向けたリレーの指導の中で教え合いの環境を作る。短距離走を効率よく走るための無駄のないフォーム、コースどりについて考え取組をブラッシュアップし

具体的な数値目標
(男子 0, 女子 -0.1秒)

②中学校区の課題種目(長座体前屈)

具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定)

柔軟性の大切さについて指導をしながら継続的な取組が必要である。保健体育科の授業でストレッチを取り入れながら、生徒にストレッチの習慣を定着させ柔軟性を高めていきたい。

具体的な数値目標
(男子5cm, 女子3cm)

③自校の課題種目(反復横跳び)

具体的な取組内容

保健体育科と部活動において、体づくり運動やウォーミングアップで敏捷性を高める運動を取り入れ、球技で足を踏ん張って切り替えの動きの大切さを説明し、実践し結果を高めていきたい。

具体的な数値目標
(男子+2回, 女子+2回)

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)